# 第100回日本内分泌学会学術総会のご案内

日本内分泌学会会員の皆様におかれましては平素より格別の御支援・御高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。2027年4月15日（木）から17日（土）の3日間、沖縄県那覇市の中心部に隣接する那覇文化芸術劇場 なはーと、ホテルコレクティブ、てんぶす那覇、Southwest Grand Hotelの4会場におきまして第100回日本内分泌学会学術総会を開催させて戴きます。世界の内分泌学会の中で二番目に古い歴史を持ち、一世紀にわたる輝かしい歩みを遂げてまいりました日本内分泌学会が次の100年に向けて新たなスタートを切る節目の学術総会、そして、初の沖縄県開催です。学びと知的感興にあふれ、内分泌学の醍醐味を存分に楽しんで戴く機会となりますよう、教室員・事務局スタッフ一同、総力を挙げて準備を進めております。

テーマは『Immersive Endocrinology －A resurgence of neo-hormonomics－』です。生成AIやデータ・サイエンスの興隆に象徴される「知の再構成」が進み、学術・診療体系の枠組みが激変する中、内分泌学的な思考・発想に基づく領域横断的・学際的アプローチが次代を切り拓く鍵を握っています。掲げましたテーマには内分泌学の神髄に没入し、たくさんのワクワク感を体験して戴きたいという願いが込められております。新たな一世紀の幕開けに相応しい学術総会を目指し、特別講演や会長特別企画には領域横断的・分野包括的プログラムを多く採り入れ、英語による発表の場、内分泌学の次代を担う若いちからが輝くステージ、女性の研究者・臨床家、海外の研究者・臨床家が活躍するセッションを拡充致しました。

第100回学術総会の学会長に御指名戴き、貴重な御指導を戴きました代表理事 小川佳宏先生、前代表理事 有馬寛先生をはじめ日本内分泌学会の理事・監事・幹事の諸先生に厚く御礼申し上げます。皆様の御指導と奮っての御演題登録・御参加を宜しく御願い申し上げます。

2026年10月吉日

第100回日本内分泌学会学術総会
会長　益崎　裕章
（琉球大学　大学院医学研究科　内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座（第二内科））

## ◆ 開催概要

テ　ー　マ　：　Immersive Endocrinology- A resurgence of neo–hormonomics-

会　　期　：　2027年4月15日(木)～ 17日(土)

会　　場　：　那覇文化芸術劇場なはーと
〒900-0015　沖縄県那覇市久茂地3-26-27

ホテル コレクティブ
〒900-0014　沖縄県那覇市松尾2-5-7

てんぶす那覇
〒900-0013　沖縄県那覇市牧志3丁目2番10号

Southwest Grand Hotel
〒900-0015　沖縄県那覇市久茂地3丁目29-52

会　　長　：　益崎　裕章
琉球大学大学院 医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座（第二内科）

運営事務局　：　第 100回日本内分泌学会学術総会　運営事務局

株式会社コンベンションリンケージ内
〒812－0016
福岡市博多区博多駅南1－3－6 第三博多偕成ビル
TEL：092-437-4188　FAX：092-437-4182
E-mail：jes2027@c-linkage.co.jp

## ◆ 一般演題募集期間

～募集演題～

・一般演題（口演・ポスター発表）

・若手研究奨励賞（YIA）

・若手臨床内分泌医育成委員会企画　Clinical Endocrinology KO Rounds

**一般演題募集期間 / YIA募集期間 ： 2026年 9 月 1 日(火) ～ 10月 15日(木)**

**一般演題募集期間：10月29日（木）まで延長　→　11月5日（木）まで再延長**

# ◆ プログラム概要

（2026年10月27日時点）

**特別講演**

**挑戦する人か、文句を言う人か**

細井 裕司　　奈良県立医科大学　名誉教授・前理事長／学長

（一社）MBTコンソーシアム　理事長

（株）パソナCCHサウンド 取締役CTO

**【ご案内】**

**第100回 日本内分泌学会学術総会より御知らせです。来場戴きました皆様に会期初日の特別講演１：「挑戦する人か、文句を言う人」で 御話を賜ります、奈良県立医科大学 前学長の細井裕司先生の御著書 『挑戦する人か、文句を言う人か ― 奈良医大7883日の奮闘と大改革』 を贈呈致します。参加者受付にて御一人様1冊、先着3,000名様にプレゼント致します。予定数に達し次第、配布を終了致しますので予め御了承下さい。細井先生の特別講演は学会長のたっての希望により奇跡的に実現したもので、日々、御自身や組織における ”様々な挑戦” と向き合っていらっしゃる すべての内分泌学会会員の皆様に聴講して戴きたい貴重な御講演です。**

**脳と身体をつなぐ新しい神経科学（仮題）**

池谷　裕二　　東京大学薬学部　教授

**“不治”は本当に不治か？ 外科医としての挑戦**

波多野　悦朗　　京都大学大学院医学研究科長・医学部長

京都大学大学院医学研究科　肝胆膵・移植外科　教授

**メタボリックドミノにおけるマルチモビディティ(多重罹患)のダイナミズムとリズム内分泌代謝学**

伊藤 裕　　慶應義塾大学予防医療センター　特任教授

**海外 特別講演**

**Impact of gut microbiota on glucose metabolism and diabetes**

Fredrik Bäckhed　　Professor, University of Gothenburg, Sweden

**会長企画 特別セッション**

**レジェンドの歩みから学ぶ内分泌研究の魅力**

伊藤 貞嘉　　公立刈田綜合病院　特別管理者兼病院長

清野 裕　　関西電力病院 総長、関西電力医学研究所 所長

門脇 孝　　国家公務員共済組合連合会虎の門病院 院長

学会長企画シンポジウム

**Endocrine Journal (EJ) Editorial Office Presents**

**～あなたの論文を一層、魅力的に仕上げるために！～**

| | |
|---|---|
| 益崎　裕章 | 琉球大学 |
| 鈴木　佐和子 | 千葉大学 |
| 長谷川　奉延 | 慶應義塾大学 |
| 道上　敏美 | 大阪母子医療センター |
| 阿部　一朗 | 福岡大学 筑紫病院 |
| 亀田　啓 | 北海道大学 |
| 大場　健司 | 浜松医科大学 |
| 野津　雅和 | 島根大学 |

学会長企画 国際シンポジウム

**・Cutting Edge Exercise Endocrinology and Metabolism**

| | |
|---|---|
| Bente Klarlund Pedersen | Professor, University of Copenhagen, Denmark |
| Masato Iwabu | Professor, Nippon Medical School, Japan |
| Christoph A. Thaiss | Professor, Arc Institute, Stanford University, United States of America |

**・Cutting Edge Endocrinology on Obesity Disease**

| | |
|---|---|
| Toshimasa Yamauchi | The University of Tokyo, Japan |
| Adriana Rendon | Novo Nordisk A/S, Denmark |
| Morten Donsmark | Amgen Inc., United States of America |
| Elena Startseva | Boehringer Ingelheim International GmbH, Germany |
| Kouki Nakamura | Rhythm Pharmaceuticals, Inc., United States of America |
| Manu Chakravarthy | Roche-Genentech Innovation Center, United States of America |
| Clare Lee | Eli Lilly and Company, United States of America |

**Global Women's Leader Summit in Endocrinology 2027**

| | |
|---|---|
| Hiroko Tsukamura | Nagoya University, Japan |
| Karla Alcazar | Eli Lilly Japan K.K, Japan |
| Saeko Uchida | Taisho Pharmaceutical Co., Ltd., Japan |
| Alessandra Abate | Recordati SpA, Italy |
| Kayo Waki | The University of Tokyo, Japan |
| Mariko Shiba | Osaka Medical and Pharmaceutical University, Japan |

**JES 2027 Rising Sunシンポジウム**

| | |
|---|---|
| 紙谷 史夏 | 奈良県立医科大学 |
| 松本 隆作 | 京都大学 |
| 眞山 学徳 | ペンシルベニア大学 |
| 小塚 智沙代 | 理化学研究所 |
| 劉 楷 | 東京慈恵会医科大学、相模原病院 |
| 根本 雄飛 | 福島県立医科大学 |
| 椎村 祐樹 | 久留米大学 |

**The KES-JES Joint International Symposium**

**（韓国内分泌学会・日本内分泌学会　合同国際シンポジウム）**

**Immuno-Metabolism in Endocrine Diseases**

| | |
|---|---|
| Hyon-Seung Yi | Chungnam National University College of Medicine, Republic of Korea |
| Sachiko Kobayashi | The University of Osaka, Japan |
| Daham Kim | Yonsei University College of Medicine, Republic of Korea |
| Motohiro Sekiya | Professor, University of Tsukuba, Japan |

**ESROC-JES Joint International Symposium**

**（台湾内分泌学会・日本内分泌学会　合同国際シンポジウム）**

**Presenteeism in Endocrinology**

| | |
|---|---|
| Edy Kornelius | Chung Shan Medical University Hospital, Taiwan |
| Shintaro Iwama | Nagoya University, Japan |
| Yi-Jing Sheen | Professor, Taichung Veterans General Hospital, Taiwan |
| Takeshi Iwasa | Professor, Tokushima University, Japan |

シンポジウム

・妊娠と甲状腺機能異常

・下垂体に残された謎に迫る

・CKM症候群における内分泌代謝学からの視点

・Cushing症候群の診療ガイドライン -現状と課題-

・Ovarian restoration

・比較内分泌の観点から病理を視る

・“骨”から見直す内分泌診療

・性分化疾患最前線

・生殖内分泌学：日本の現状と世界の最先端

・遺伝性疾患における褐色細胞腫の外科治療～機能温存をしますか？～

・女性の「痩せ」を考える

・ホルモン測定系 update ～故きを温ねて新しきを知る～
・内分泌GPCR研究の最前線：神経・構造・薬理から次世代を展望する
・筋・炎症・ホルモンのクロストークが紡ぐ病態解明研究の最前線

**クリニカルアワー**

・造精機能障害の治療戦略
・骨稀少疾患の診断と治療
・小児内分泌診療のピットフォール：現場から学ぶ
・Beyond the Guidelines　～非典型症例の診療～

**CPC／症例検討**

診断・治療に難渋した症例

**教育講演**

・甲状腺疾患と妊娠　プレコンセプションから周産期管理まで
・いまさら聞けない甲状腺ホルモン代謝
・甲状腺癌の予後を規定する遺伝子異常
・進行性甲状腺がんと分子標的薬
・甲状腺クリーゼ：救命するためにすべきことは何か？
・免疫チェックポイント阻害薬による内分泌障害 アップデート
・バソプレシン分泌異常症 アップデート
・下垂体機能低下症の病態
・リンサイクルと老化
・高血圧学会ガイドライン2025のエッセンス
・ヒトの老化をどう理解するか：循環器医療の視点から
・医学教育で次世代の内分泌学志望者を増やすには
・先天性副腎過形成の診断と治療の最前線
・生殖の神経内分泌制御
・下垂体病理 Update
・甲状腺穿刺吸引細胞診外来の実際
・How does PTH work？ -Implications for novel therapeutics-
・生活習慣病合併骨粗鬆症
・小児・思春期の骨代謝：生理と病態
・骨軟化症の診断と治療
・内分泌代謝疾患の小児期と成人期をシームレスにつなぐ
・小児成長障害の診断と治療

・TSH産生腫瘍に甲状腺癌が合併した症例…どっちを先に手術する？
・アクセプトされる論文を書くコツ
・内分泌代謝・糖尿病内科専門医申請のための病歴要約作成のポイント
・国際学会での英語プレゼンテーションに向けて
・AI顔写真解析ツール（Face2Gene）の活用と可能性
・低カルシウム血症　鑑別から治療まで
・シングルセルRNAシーケンス入門
・下垂体外科手術　周術期管理のピットフォール
・大規模データ研究を見据えた健康医療情報の環境整備
・臨床応用に向けた褐色脂肪細胞研究の展開
・書く力、査読する力！― 英文論文執筆と査読の実践コーチング ―
・食と食品をめぐる内分泌臨床と内分泌研究
・希少小児内分泌疾患が拓く新領域 ―ROHHAD症候群を通した視床下部・自律神経・腫瘍免疫の統合的理解―
・DOHaDの内分泌学と内分泌診療
・内分泌代謝専門医×臨床遺伝専門医が拓く新しい世界
・因果推論×機械学習が拓く個別化内分泌医療
・遠隔医療が切り開く新たな内分泌疾患医療
・内分泌領域におけるAIの活用とジェンダード・イノベーション
・ビッグデータを用いた内分泌臨床研究
・MASLDの内分泌学と新しい治療戦略
・プレコンセプションケアから考える女性の糖代謝異常・内分泌疾患
・内分泌学から考える女性アスリートの健康
・内分泌疾患再生医療の最前線：副甲状腺を創る
・骨粗鬆症治療の新展開
・PBMAHの内分泌学的病態解明と治療展開
・脂肪酸内分泌学への招待

<u>その他のプログラム</u>

**JES We Can**

**中堅若手の会企画 YECセミナー**

**若手臨床内分泌医育成委員会企画　Clinical Endocrinology KO Rounds**

**若手研究奨励賞（YIA）審査講演**

**一般演題（口演）、一般演題（ポスター）**

**共催シンポジウム、ランチョンセミナー、イブニングセミナーモーニングセミナー**

**各種受賞講演・表彰式**